



2021年4月吉日

大型観光バス「エアロクィーン」「エアロエース」 折戸仕様車 発売開始

三菱ふそうバス製造株式会社（本社：富山県富山市婦中町道場1番地、取締役社長：藤岡佳一郎、以下MFBM）は、大型観光バス「エアロクィーン」「エアロエース」の折戸仕様車を製造し、三菱ふそうトラック・バス株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO ハートムット・シック、以下MFTBC）で販売を開始したことを発表しました。

そして、初号車を名鉄バス株式会社（本社名古屋市：代表取締役社長 清水良一、以下名鉄バス）へ4月26日に納車しました。

「折戸仕様は、近距離路線等での定時運行、天候や停留所の状況に左右されず、円滑かつ安全に乗降していただける車両となっております。開発にあたっては、名鉄バス様からも大変貴重なご意見を伺いながら開発を進め、今回無事納車することができました。今後は全国のお客様の運行路線や状況に応じた最適な車両の提案が可能となりました」（三菱ふそうバス製造株式会社会長 高羅克人）

「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ウェルカムセンターでのイベントは昨年9月のオープニングセレモニー開催以来の開催となりました。この大切なイベントを名鉄バス様と迎えられたことをとても嬉しく思っております。また折戸仕様の開発にあたっては、開発当初より名鉄バス様に多大なるご協力をいただき、感謝しております」（三菱ふそうバス製造取締役社長 藤岡佳一郎）

折戸仕様車はこれまで近距離路線を中心に高いニーズがあり、バス事業者様からの要望に応え開発しました。

折戸仕様の大型観光バスは、乗客の乗降性の向上、視認性や事故等を防ぐ安全性の向上、更には定時運行の安定性の向上が期待できるメリットがあります。乗客の乗降性では、扉が大きくはみ出すスイング扉と比べて折戸扉は突出量が少なく、乗客が待機する停留所に近い場所での停車が可能となります。またステップ幅を拡大したほか、昇降握り棒も左右両側に設置することで、乗客にとって乗り降りし易いように乗降性を高めました。安全性では、同時に路肩に沿った停車ができるため、自転車やバイクの侵入を防ぎ、巻き込み事故や衝突事故を未然に防げます。また車両側面の行き先表示版を入り口近くに設置することで、ドア開時の行先表示ならびに運転席からのミラー左後方の視界がより見やすいなど視認性を向上しました。定時運行の安定性では、スイング扉と比べて停留所でのドア開閉の時間が短縮でき、乗降もし易いことからお客様の定時運行により貢献できる車両となっております。

■「エアロエース」折戸仕様車（撮影用特別仕様車）



名鉄バス様への初号車のゴールデンキー贈呈



三菱ふそうグループ
三菱ふそうバス製造株式会社